

平成27年 3月定例会

平成27年度一般会計当初予算
最大規模の107億円 (3P)

今定例会は3月6日から同18日まで開催され、町長から条例の制定が5件、条例の一部改正が13件、条例の廃止が2件、指定管理者の指定1件、平成26年度補正予算が9件、平成27年度当初予算が13件、土地の取得1件、人事案件3件の47議案が、また、議員提出議案2議案が提出され、47議案が可決、1議案が否決、1議案が審議未了廃案となった。

町長提出議案

平成26年度黒潮町一般会計補正予算
防災関連など21事業が翌年度に
(繰越明許費総額17億3415万円)

黒潮町一般会計補正予算 (6号)

歳入

1億1416万円を減額し、歳入歳出総額を110億5425万円とするもの。
要因は、決算見込みの調整による減や入札減などによるもの。

歳出

■ 収支の調整による財政調整基金積み立て 2億930万円

■ 補助災害分が少なかったための農業用施設現年発生補助災害復旧費 △2300万円

■ 起業支援型地域雇用創造事業委託、及び地域人づくり事業委託 △2253万円

歳入

- 町税 1438万円
- 国庫支出金 1173万円
- 県支出金 △1億6415万円
- 町債 1930万円

Q 矢野 昭三議員

雇用対策(基金)事業で委託予算を組んだ目的は何か。また、委託料2253万円の減額の理由とその内容は。

A 門田 産業推進室長

この事業は、地域の実情に応じた多様な人づくりの支援や雇用を拡大するために、必要な人材を育成する事業や、賃金の上昇や正規雇用の促進などの処遇を改善するための事業を委託するもの。

減額の理由は、事業申請に即対応するために、概算で予算要求をしていたが、結果、申し込みが少なかった。委託件数は8件。内容は、

販売促進、販路開拓、営業力の強化といったソフト的な事業を千鳥ヶ浜工房、明神フーズ、缶詰製作所、土佐ジローの養鶏場、道の駅なぶら土佐佐賀に委託。また、雇用拡大プロセスの事業で缶詰製作所。そして、処遇改善プロセスの事業で土佐佐賀産直組合と缶詰製作所。



門田 産業推進室長